

◆エントリー申込(受付終了)

1. エントリー資格

エントリーはチーム単位となります。下記の条件を満たしたチームでの登録をお願いします。

- ①全国で採択されているリーディングプログラムを履修している大学院生。
- ②チームの構成は1チーム3名以上(最大で10名)。プログラム・大学を越えてチームを結成しても構いません。
- ③フォーラム当日に、2日間とも参加できるメンバーは4名以内(予定)を想定しています。
- ④同一人物が複数チームに所属することはできません。

※フォーラム当日の参加メンバーについては後日、事務局より人数などチーム代表者にお問い合わせします。
チーム内で当日参加者を選出してもらい、別途フォーラムHPの「参加登録」から登録していただきます。
(チームエントリーは済んでいても、別途「参加登録」が必要ですので、お間違えのないようお願いします)

2. エントリー方法

エントリーはオンライン登録のみとなります。チームの構成員をネクストビジョナリーの「エントリーフォーム」ページにて登録してください。

※エントリー受領確認は、登録時に入力された代表者のE-mailアドレスに受領通知が届きます。また、「確認・修正」画面にて受付番号、パスワードを入力の上ご確認いただくことも可能です。なお、画面に登録番号が表示されない、登録完了より1日経過しても受領通知メールがお手元に届かない等の場合は、登録が完了していない可能性があります。
受領通知メールが届かない場合、必ず締切日までにメールにて運営事務局(forum2013@congre.co.jp)まで登録の有無をご確認ください。

◆アブストラクト提出

1. あなたが考える次世代のビジョンは何ですか？

あなたが考える次世代のビジョンを以下のテーマを参考にして考えてみて下さい。

(各テーマの詳細はWebページをご覧ください。<http://leadingprogram-forum2013.jp/visionary>)

【未知のデバイス】

30年後の世界—そこではどのような「未知のデバイス」が世界を席巻しているだろうか。30年後の時代背景や社会情勢、我々の暮らし自体を洞察しつつ、創造的な提案に取り組む。



【Sustainability of Resource or Infrastructure】

豊かで安心・安全な生活の維持に向け、高コストな社会的基盤(インフラ)のサステイナブルな確立・再構築や、資源・エネルギーの安定的確保にどう取り組むべきか、“Re-innovation”の在り方を問う。



【社会的格差・対立】

高齢者層と若年層、外国人、宗教、障害を有する者、同性愛者など、今後の日本で生じるdiversityを乗り越えるビジョンと、起こりうる様々な格差・対立の克服策を模索する。



【Japan and/or Global, Now and Future】

地球規模のグローバル化と日本社会の関係性を洞察しつつ、真の国際競争力強化、資源・コンテンツのビジネス化と伝統・価値継承の両立など、日本にとってのグローバル化の深遠を探る。



2. アブストラクトの提出

チームで話し合った提案内容をもとに、全角600文字以内でアブストラクトを提出していただきます。なお、締切り(11月15日)までは何度でも登録した内容を、確認・修正・削除することが可能です。

●アブストラクト記載内容

ビジョン、解決すべき問題、提案する解決策

3. テーマの選択

提案する内容に最も近いテーマを選択してください。

●テーマ

1. 未知のデバイス
2. Sustainability of Resource or Infrastructure
3. 社会的格差・対立
4. Japan and/or Global, Now and Future

※アブストラクトの内容によっては、上記テーマ選択とは別のカテゴリーで、ワールドカフェ方式での議論やプレゼンテーションをしていただく場合がありますので御了承下さい(次頁を参照下さい)。

◆テーマ別エントリーチームの発表(発表は11月25日頃を予定)

アブストラクトの内容を踏まえ、テーマ別エントリーチームをネクストビジョナリーHPにて発表します。参加チームには、1月10日(フォーラム1日目)のワールドカフェでの発表にむけた準備をしていただきます。フォーラム当日まで、発表内容のブラッシュアップをしてください。アブストラクト提出後のビジョンや解決策の内容の変更は可能です。(ただし、当日配布冊子には、HPにて登録していた内容が掲載されます。)

当日(1日目)は、チーム毎に机、イス、ディスプレイ(24インチ)を設けます。これらを使ったプレゼンテーションの準備をお願いします。それ以外に、紙媒体等による補足資料は各自で用意していただいても構いませんが、必要な文具等はお手数ですが各チーム毎に準備をお願いします。(なおホワイトボードはございません)。

なお、2日目のパワーポイントによるプレゼンテーションの準備もしていただいて結構です。ただし、1日目のワールドカフェの結果を踏まえて、修正が必要になることを御承知おきください。

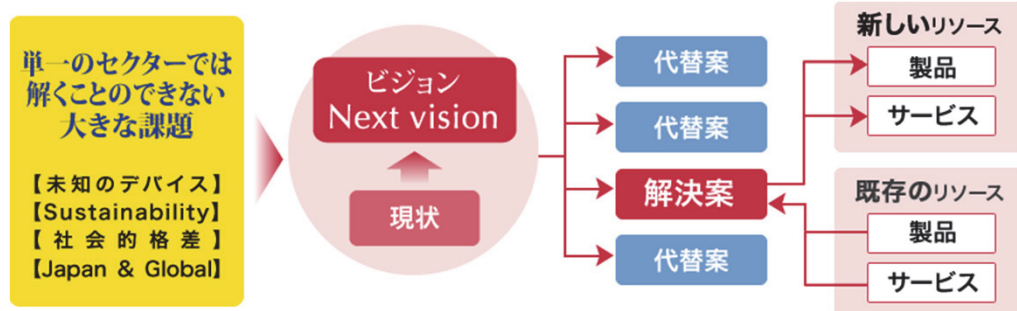
◆チームミーティング

1. ビジョンを設定しよう!

4つの大きな課題を参考にして、まずは自分達の考える先進的・独創的な次世代のビジョンを設定しましょう!

課題解決とは、「ビジョン」を設定し、

現状とのギャップを埋める解決策を導き出すこと



先進的・独創的なビジョンを現実化し、

社会に大きな影響与える未来の人材=Next visionary

①具体的な問題に落とし込み、未来につながる解決策を考える

②既存のリソースを解決案に組み上げる

2. 次世代のビジョンを実現するために解決すべき問題は?

設定した次世代のビジョンと現状とのギャップこそが解決すべき問題です。

3. その問題を解決する方法は?

落としこんだ問題を解決する方法は何種類もあります。まずは、その方法をできるだけ多く考えましょう(拡散)。また、例えば解決案Aと解決案Bが出てきて、AをすればBもできてしまう、AをしなければBはできないなど、それぞれの案に関連性が出てくると思いますので、それぞれの解決策の関連性も考慮しておきましょう。

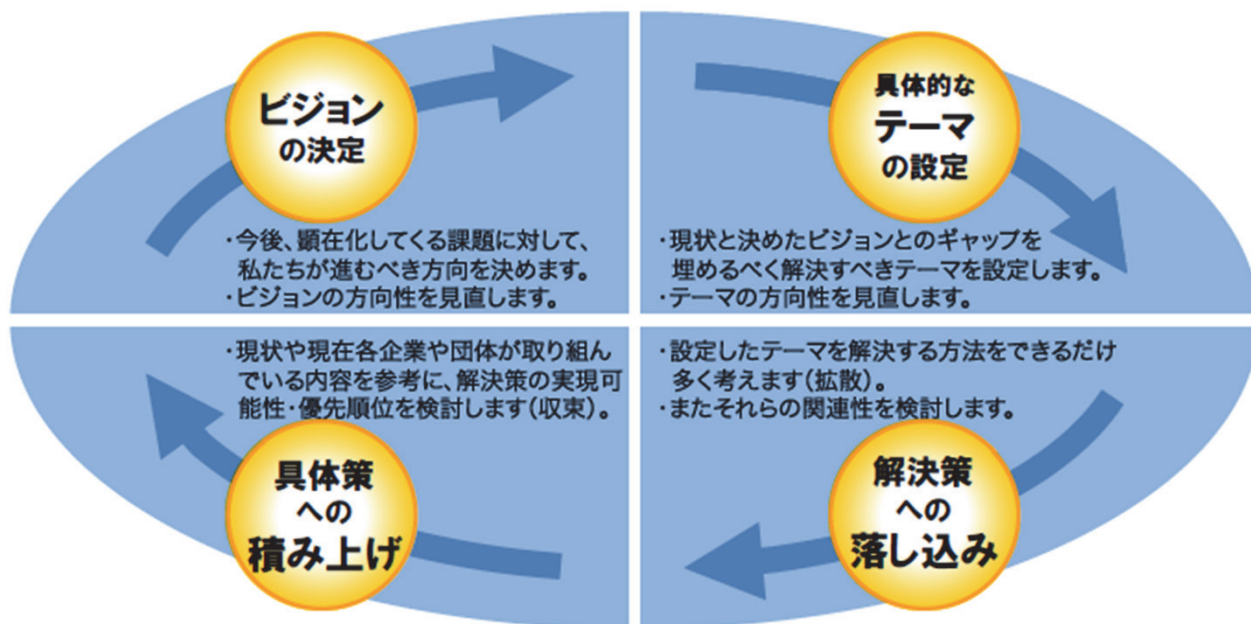
4. 解決案を具体策に落とし込もう

様々な切り口から出てきた解決案をより実現可能性の高いものにしていきます(収束)。その参考資料として、現在様々なジャンルの企業や団体が取り組んでいる内容・製品やサービス、今後のビジョンなどを掲載しています。それらを参考に、自分達の考える、オリジナルの新しい製品やサービスを提案して下さい。

5. 仮説と検証の繰り返しによる課題解決提案のブラッシュアップをしよう!

少し時間を置いたり、視点を変えてみると、現状の解決提案内容よりもっといい案がでてきます。一通り考えた提案をもとに、仮説検証を繰り返して提案内容をよりよいものに磨いていきましょう!

◆課題解決策提案に向けた思考プロセス



仮説検証の繰り返しによる 課題解決提案のブラッシュアップ

◆課題解決例

各企業の実践事例 (1)



▶ 未知のデバイス

▶ Sustainability of Resource or Infrastructure

▶ 社会的格差・対立

▶ Japan and/or Global, Now and Future



ITOCHU Corporation

【会社概要】

伊藤忠商事株式会社

伊藤忠商事株式会社は、1858年初代伊藤忠兵衛が麻布の行商で創業したことにはじまり、現在は世界66カ国に約130の拠点を持つ大手総合商社として、繊維、機械、金属、エネルギー、化学品、食料、住生活、情報、保険、物流、建設、金融等の各分野において国内、輸出入及び三国間取引を行うほか、国内外における事業投資など、幅広いビジネスを展開しています。

①事業コンセプト

2013年度から始まった中期経営計画「Brand-new Deal 2014」では、「収益拡大」「バランスの取れた成長」「財務規律遵守と低重心経営」を基本方針とし、従来から当社の強みである「生活消費関連分野」を中心とした非資源分野において、世界規模で人々の生活を支えるビジネスに挑戦し、「非資源No1商社」を目指していきます。また、非資源分野と資源分野の安定した収益バランスを基盤に、さらなる発展を実現していきます。

②現在の取り組み事例

繊維カンパニーでは、ブランドビジネスやアパレル小売といった川下を中心とした複合的なビジネスモデルを縦横に駆使し、業容・収益力の両面で業界最強の地位を固めている当社は、「衣」にとどまらず、米国ニューヨークの高級グルメストア「DEAN&DELUCA」をはじめ、ブランドを切り口にライフスタイル全般へと収益機会を拡大しています。更に、蓄えてきた実績とノウハウが新たなチャンスを生み出す好循環を活かし、事業基盤をグローバルに拡げています。

<http://www.itochu.co.jp/ja/business/textile/>

③今後のビジョン

繊維カンパニーでは、衣類の原料となるコットンを栽培している農家に対し、プレオーガニックコットンプログラムを実施しています。これは当社と株式会社KURKKUが共同で企画、運営を行っている「インドのコットン農家のオーガニック栽培への移行を支援するプログラム」です。3年間の移行期間中に、有機農法の指導やオーガニック認証の取得サポートを行い、農業や化学肥料による環境、健康への被害、農家の経済的負担増などの悪循環を断ち切ることを目指しています。2012年には、商業活動と持続可能な開発を実現するビジネスとして、国連開発計画が主導する「ビジネス行動要請 (BCtA)」の取組みとして承認されました。今後さまざまな企業、団体、消費者の皆様の理解と共感を支えに、プレオーガニックコットンプログラムの更なる拡大を目指していきます。

<http://www.itochu.co.jp/ja/csr/activities/textile/>

◆ブリティッシュカウンシルによるオープニング(13時15分～13時45分)

◆ワールドカフェによる1次審査(13時45分～16時30分)

各テーマ毎に2つのディビジョンにチームを分類します(各グループは5～6チームで構成)。

	テーマ1	テーマ2	テーマ3	テーマ4
	未知のデバイス	Sustainability of Resource or Infrastructure	社会的格差・対立	Japan and / or Global, Now and Future
ディビジョン1	グループ①	グループ③	グループ⑤	グループ⑦
ディビジョン2	グループ②	グループ④	グループ⑥	グループ⑧

ワールドカフェのラウンド1と3でディビジョン1のグループに、ラウンド2と4でディビジョン2のグループにプレゼンテーションをしていただきます。

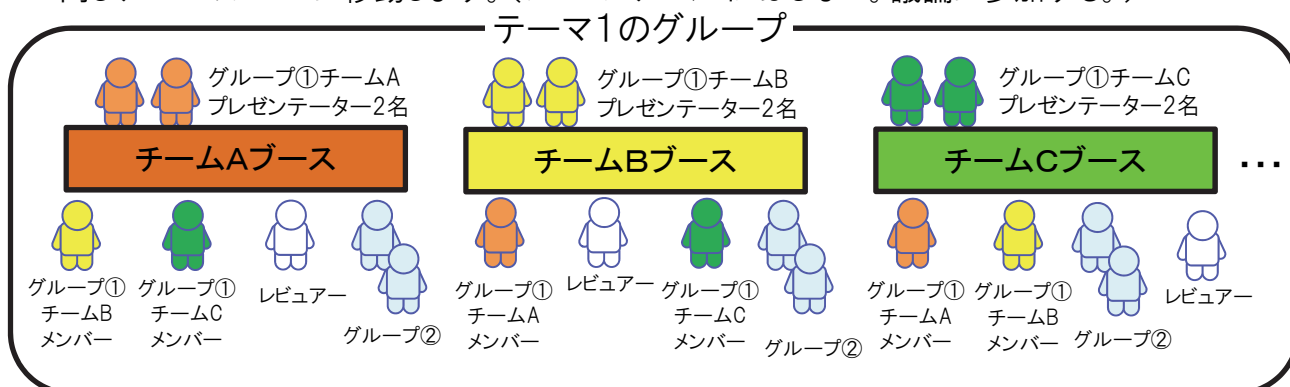
1. ワールドカフェ ラウンド1(13時50分～14時20分)

＜ディビジョン1のグループ＞

事前にチームで話し合っ2回あるプレゼンの担当者各2名を決めていただきます。第1回目のプレゼンターは自分のブースに残り、残りのチームメンバーは、同じテーマの別のブースに移動します。

＜ディビジョン2のグループ＞

同じテーマのブースに移動します。(プレゼンテーションはしない。議論に参加する。)



プレゼンターに**10分以内**に自分たちの考えるビジョンや解決策をプレゼンテーションしていただき、他のチームの学生や企業関係者など当日の参加者と質疑応答・ディスカッションを行います。また、**当日参加する企業の方達の一部はレビューアとして、プレゼンテーション内容や議論の様子、質問内容を評価・採点し、その点数の合計を考慮した1次審査を行います。**

2. 休憩(14時20分～14時30分)

移動・休憩・次のプレゼンの準備をしてもらいます。

3. ワールドカフェ ラウンド2(14時30分～15時00分)

＜ディビジョン1のグループ＞

同じテーマのブースに移動します。(プレゼンテーションはしない。議論に参加する。)

＜ディビジョン2のグループ＞

事前にチームで話し合っ2回あるプレゼンの担当者各2名を決めていただきます。第1回目のプレゼンターは自分のブースに残り、残りのチームメンバーは、同じテーマの別のブースに移動します。

1回目と同じ流れで進行します。

4. 休憩(15時00分～15時10分)

移動・休憩・次のプレゼンの準備をしてもらいます。

5. ワールドカフェ ラウンド3(15時10分～15時40分)

＜ディビジョン1のグループ＞

第2回目のプレゼンターは自分のブースに残り、残りのチームメンバーは、同じテーマの別のブースに移動します。

＜ディビジョン2のグループ＞

同じテーマのチームのブースに移動します。また、別の会場にてチームで集まって振り返りを行っても構いませんが、ワールドカフェでの質問内容も評価対象ですので、ワールドカフェへの参加を優先してください。

6. 休憩(15時40分～15時50分)

移動・休憩・次のプレゼンの準備をしてもらいます。

7. ワールドカフェ ラウンド4(15時50分～16時20分)

＜ディビジョン1のグループ＞

同じテーマのチームのブースに移動します。また、別の会場にてチームで集まって振り返りを行っても構いませんが、ワールドカフェへの参加を最優先してください。

＜ディビジョン2のグループ＞

第2回目のプレゼンターは自分のブースに残り、残りのチームメンバーは、同じテーマの別のブースに移動します。

8. 休憩(16時20分～16時30分)

移動・休憩・ロジ変更の時間です。

◆チームミーティング(16時30分～17時00分)

ワールドカフェでのディスカッションを通じ指摘されたことや気づきを、チーム内で共有し、プレゼン内容の深化をして、2日目のプレゼンテーションで使用するパワーポイントの準備を進めてください。

◆ラップアップセッション(17時00分～17時30分)

各テーマごとに、ディスカッションを見ていて気になったこと、明日のプレゼンにむけて改善した方がよいことなどを代表レビュアーの方に話してもらいます。

◆休憩(17時30分～18時00分)

18時から開催されるレセプションまでの時間はチームミーティングの時間にしないでいただいても構いません。ただし、17時55分には移動を開始してください。

◆レセプション(18時00分～19時30分)

他大学の学生同士だけでなく、企業の方や大学関係者との懇親を深め、交流と親睦の輪をできるだけ広げる機会としてください。

◆1次審査結果発表(19時30分～20時00分)

ワールドカフェにおける、発表内容・質問内容・応答内容等をレビュアーの方に評価・採点していただき、その総合評価から1次審査チームを発表します。

通過チーム：4テーマ × 各6チーム = 24チーム

通過できなかったチームは、2日目の10:30から行われる敗者復活戦に出場していただきます。

敗者復活戦通過チーム：4テーマ × 各1チーム = 4チーム

(1次審査を通過したチーム)

◆チームミーティング(10時30分～12時00分)

1日目のレビューアの話も参考にしながら、午後のプレゼンテーションの準備をしていただきます。

(1次審査を通過できなかったチーム)

◆敗者復活戦(10時30分～12時00分)

テーマ別に分かれて、**8分**で再度自分たちが考えてきたビジョンや解決策のプレゼンテーションを行います。その内容を、プレゼン参加の他チームが評価し、自分たちのチーム以外で最も良かったチームに投票します。その結果から、テーマ別の敗者復活チームを決めます。採点方法や基準については当日アナウンスします。

◆テーマ別プレゼンテーション2次審査(13時00分～14時50分)

テーマ別に分かれて計7チーム(1次審査通過6チーム+敗者復活1チーム)による発表会を行います。自分たちの考えるビジョンや解決策のプレゼンテーションを**8分**(質疑応答3分)で行います。その内容を踏まえ、審査員が各プレゼンテーションを評価します。その結果から、テーマ別の優勝チームを決めます。採点方法や基準については当日アナウンスします。

※2次審査に進出できなかったチームは、自分たちの所属するテーマやそれ以外のテーマの発表を自由に聞く時間として活用してください。

◆総合プレゼンテーション(15時00分～16時00分)

テーマ別プレゼンテーションで優勝した4チームには、総合発表会にて、自分たちの考える課題とそれに対するビジョン・解決策のプレゼンテーションを**8分**(質疑応答4分)で行っていただきます。その内容を審査員や、皆さんを含めた来場者に評価してもらい、総合優勝チームが決まります。総合プレゼンテーションで発表したチームには賞品が授与されます。

○優秀チームへの副賞

今回、プレゼンテーションが優秀であると認められたチームに対しては、ご希望に応じ、(株)JGマーケティング様より、クラウドファンディング(資金調達)サイト「ShootingStar(シューティングスター)」を利用する上でのコンサルティングを無料で受けられる権利を提供して頂けることになりました。

クラウドファンディングは、現在世界的に注目されている資金調達方法のひとつで、世の中を変えたいと信じる個人や企業、NPO団体が、ネットでの寄附を通じて支援を呼び掛けることで、大きな夢を実現することができる仕組みです。「腕一本で世の中を渡る」とはよく言われる台詞ですが、クラウドファンディングは「アイデア一つで世の中を渡る」ことを可能とするものです。

提案するビジョンの内容にもよりますので、上記サービスを実際に利用するかどうかは皆様次第ですが、ビジョンを提案するだけでなく、それを実行する＝やり抜く、ことまで構想してみたいかがでしょうか。

<http://shootingstar.jp/whatShootingStar>



SHOOTINGSTAR